

研究について



内科総合力の深化につながる基礎・臨床研究への探究心を育てます。

総合内科・総合診療領域

一般的症状から解析する症候学の研究、炎症疾患の研究、老年医学の研究などを行っています。漢方領域では、潜在する内分泌異常にに関する研究を行っています。また、不明熱の病態解析の研究を行っています。

内分泌代謝領域

総合診療の現場から、幅広い内分泌代謝関連のクリニカル・クエスチョンを紐解く臨床研究を行っています。また、内分泌代謝について分子生物学的にアプローチした基礎研究も行なっています。

感染症領域

地域医療現場における感染症の治療・対策の実態調査と介入効果の評価を行っています。また、薬剤耐性メカニズムの把握や、地域の疫学調査、保険診療データなどのビッグデータを用いて感染性疾患の発生・死亡トレンドを追うことで、SDGsに貢献できるデータ解析を行っています。

医学教育領域

卒前・卒後教育において、全人的医療を実践できる医師を育成するために、「共感性」「物語能力」「モチベーション」「バーンアウト」をテーマに、量的および質的アプローチを用いた医学教育研究を行っています。

総合診療医学寄附講座

岡山県の玉野市、笠岡市、新見市、倉敷市、赤磐市、高梁市、香川県の丸亀市に位置する寄附講座と連携して、臨床・教育・研究を推進しています。



専門外来

当院では時代の医療ニーズに沿った独自の外来枠を設けています。

- 漢方臨床教育センター
- 不明熱外来
- 自己注射サポート外来
- パラアスリートヘルスケア外来
- コロナ・アフターケア外来
- コロナワクチン副反応外来
- 渡航ワクチン外来
- 感染症内科外来



多数の編集・執筆活動を行っています。



<https://okayama-u-genmed.com/>

岡大総合内科学



Department of GENERAL MEDICINE INFECTIOUS DISEASE

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

総合内科学

岡山大学病院

総合内科・総合診療科

感染症内科



内科・総合診療科を目指す皆さん、是非、私たちと一緒に研修を始めましょう！

総合力と専門性のハブ (hub) となるような内科を創りたい

私たちは、「専門医を目指す内科医」と、「総合医を目指す内科医」がともに集まる内科、「総合力と専門性のハブ (hub) となるような内科を創りたい」と考えています。著しく専門分化の進む内科領域のなかで、広い視野と協調性を備え、的確な初期対応能力をもった岡大初の新たな内科 Generalist の育成を目指すとともに、それぞれの教室スタッフの得意分野・専門領域を臨床・教育・研究面でフルに活用して、医歯薬学総合研究科としての使命である Physician Scientist の醸成にも努力したいと考えています。また感染性疾患は全ての臓器に発症するため、総合的な診察能力・対応力が求められます。診断困難例・難治例が紹介されることの多い当院では、感染性疾患に関して高い専門性と知識・経験を有する医師の役割は非常に大きいと考えており、当院では総合内科・総合診療科と感染症内科が二人三脚で外来・病棟の診療を行える環境を整えています。

全人的医療のできる医師の育成と大学院教育の両立を目指す



医学生の皆さんへ

卒前教育として内科総論・内科診断学・東洋医学・臨床検査医学を担当しており、内科疾患の基本概念の理解を深め、基本的症候や病態から診断へのアプローチが可能になるよう、臨床推論の基礎教育を担当しています。学内での基本臨床実習に加えて、選択臨床実習では地域の病院や診療所の先生とグッと近い距離感で、実際の総合診療の現場に触れる教育を行っています。

また、クリニカルクラークシップにおいては、総合内科の外来診療や病棟診療を通じて内科系 common disease に関する診療技能を習得するとともに、複雑症例を全人的・総合的に深く考察する能力を涵養し、症候や臨床症状から確定診断へと至る臨床推論を実践します。さらに、臨床検査の基本的な知識と技術を習得し、検査結果の解釈と臨床に適用するための用力をつけることを目標としています。

研修医の皆さんへ

それぞれ教室スタッフの得意分野・専門領域を活かした研修指導

当科では、総合内科・内分泌・感染症・糖尿病・消化器・消化器内視鏡・神経・腎臓など、多くの分野の専門医が在籍し診療や研修医指導を行っています。内科専門医、総合診療専門医、家庭医療専門医やプライマリ・ケア認定医、病院総合診療医学会認定医の取得も可能です。特に、内科各科の根幹となる基本的な医療面接、診察手技、鑑別診断について研修します。

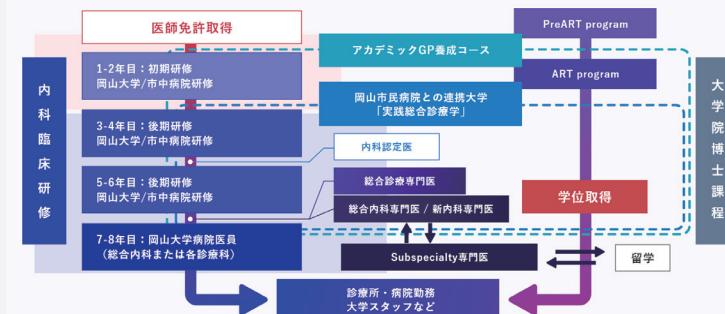
研修医の「自主自立」を原則とした研修

すべての臨床内科医としてのベースとなる姿勢と知識・技術の基本教育を行います。また、内科医の将来像として教育医・研究医へのステップアップができるように、「全人的・総合的医療のできる総合内科医の育成と大学院教育の両立を目指した教育」を目標にしています。

チームの一員として活動できる研修

全体カンファレンス・チームカンファレンス・教授回診などの場を通じて、研修医の治療方針を可能な限り尊重した診療を心がけています。医療面接・身体診察・臨床推論により鑑別診断を的確に行い、患者の状態を正確に上級医に伝え、可能な検査は自ら実施し、診断確定後の治療方針を自ら決定、外来初診患者の診療も上級医の指導のもとで行います。

多彩なプログラムで、キャリアをサポート



内科医、総合診療医の持つ広い可能性を体験していただき、新内科専門医、総合診療専門医や Subspecialty 専門医など研修医の皆さんの希望する専門科への橋渡しができるようにサポートします。詳しくは HP をご覧ください。

